

みちのく森の楽校だより



モミジ

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

2019年 11月号

11月23日(土) 小雨

秋の里山リースづくり!

クリスマスの準備としてリースづくりをしました。里山の植物を使っています。

ご自宅用リースと小野分校前の巨大リース! 国道からよく見えます。国道を通るたびにみてください!

森のリースづくり

里山のリースづくりは材料の採取から始まります。ツルだけは用意しておきました。

駐車場の樹木から、いろいろな松ぼっくりや常緑樹の葉っぱを採取。

ツルを丸めて、好きな飾り付けをしました。素敵な作品群をご覧ください!



秋の味覚いろいろ

雨なので山には入らず、小野分校でお昼にしました。

今日は秋野菜たっぷりの山の恵みいろいろです。

サツマイモお菓子



里いも

白玉あんこ

秋野菜たっぷりのトン汁

巨大リース

国道沿いを飾る大きなリースを作りました。芯は割り竹を束ねて円形に丸めておきました。

その周りにスギの葉をつけて、大きな緑の円をつくり、そこにみんなでいろいろな飾り付けをしました。

夜にはイルミネーションも輝きます。



次回、第9回「森の楽校」は12月21日(土)、年末の餅つきとミニ門松づくりをします。